



協同労働促進事業による労働者
協同組合などの団体の設立・推進、
シルバー・協同労働センターとの連携

広島市経済観光局雇用推進課
伊東 高之

広島市協同労働支援センター
(労働者協同組合ワーカーズコープ・
センター事業団)
高成田 健



目次

01

協同労働促進事業の紹介
背景 / 事業内容 / 現況

02

団体の設立支援内容
設立までの支援内容 / 支援の流れ

03

協同労働団体の紹介
事業内容 / 特徴 / 立ち上げ経緯

04

協同労働で働く魅力とは
実践者の声（メリットや苦労した話） / 任意団体と労働者協同組合

05

広島市協同労働支援センターの紹介
全国初「シルバー・協同労働センター」 / シルバーとの統合効果

06

新たな立ち上げ人材発掘・獲得に向けて
インターンシッププログラム / 体験プログラム / 学生起業支援

01 協同労働促進事業の紹介 立上げ～現在までの歩み

平成26年度
(2014年)

市内8区のうち、2区でスタート
※平成26年度：4団体 立ち上げ
平成27年度：3団体 //

経緯・目的

協同労働の仕組みを活用して、地域課題の解決に取り組み、地域コミュニティの活性化と地域活動の新たな担い手確保につなげることを目的にスタート。

平成28年度
(2016年)

市内全域に拡大
※平成28年度：5団体 立ち上げ
平成29年度：2団体 //
平成30年度：5団体 //
令和元年度：0団体 //
令和2年度：6団体 //
令和3年度：3団体 //

令和4年度
(2022年)

年齢要件と構成人数要件の緩和
※令和4年度：4団体 立ち上げ
令和5年度：4団体 //
令和6年度：2団体 //

要件緩和

①:年齢要件の緩和

⇒構成員のうち半数が60歳以上という年齢要件を撤廃(令和4年度から)

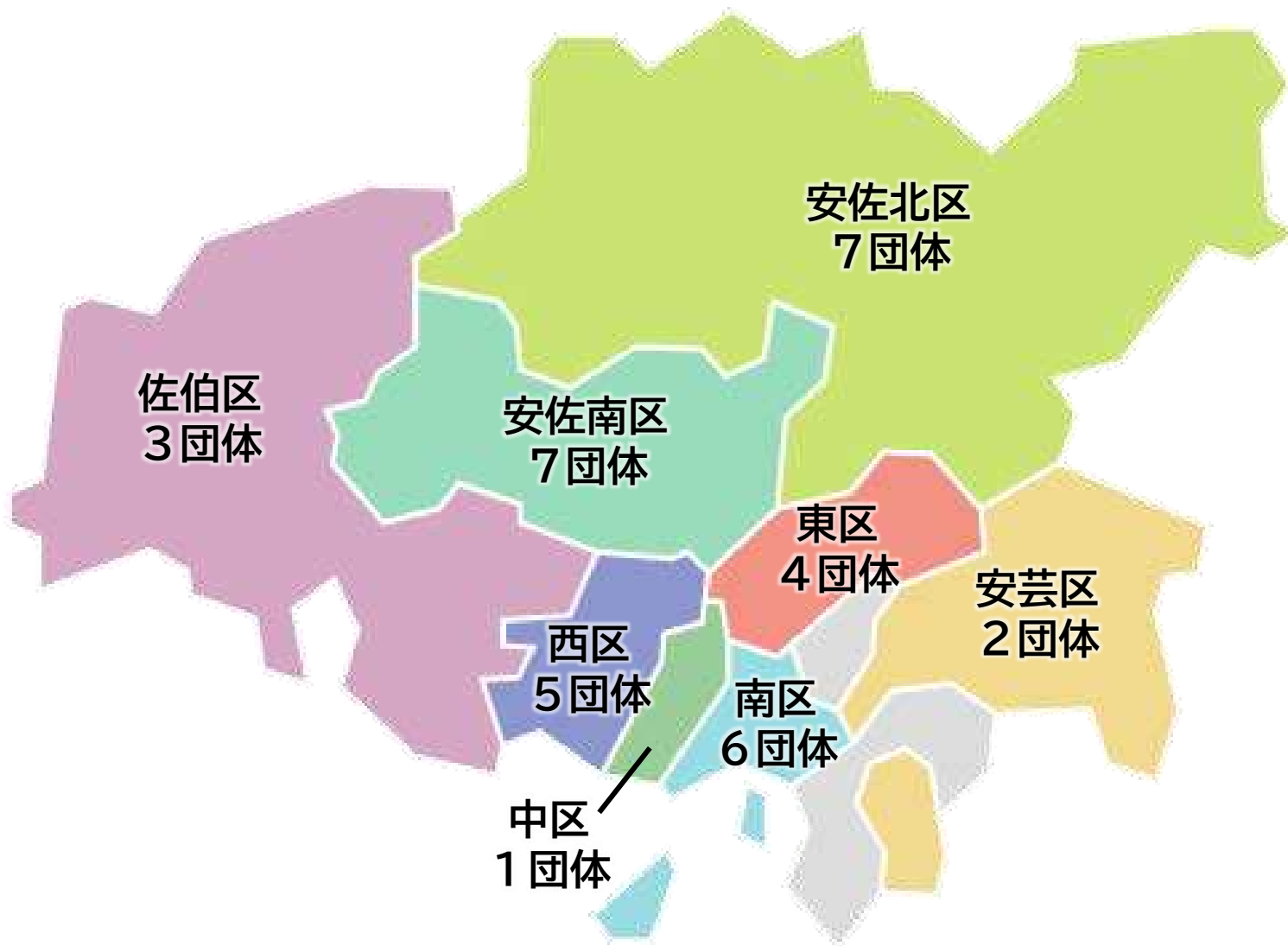
②:構成人数の緩和

⇒労働者協同組合法の要件に合わせて、構成人数を4人以上から、3人以上に変更

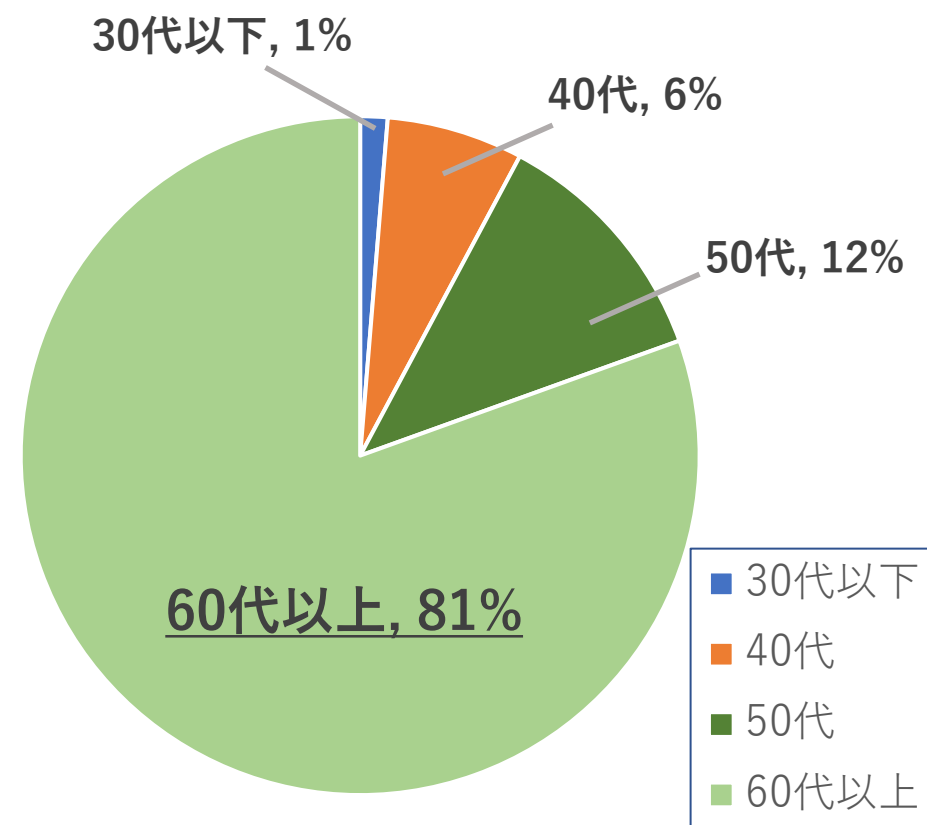
令和7年度
(2025年)

協同労働支援センター開設
※令和7年度：5団体 立ち上げを目標に、
既存団体の活動支援と立ち上げ支援を強化

01 協同労働促進事業の紹介 現況(現在活動中の協同労働団体)



協同労働団体年代別シェア
(令和7年4月現在)



⇒ 計35団体、450人が現在活動中。

01 協同労働促進事業の紹介 事業内容(支援策)

協同労働の仕組みを活用して地域課題の解決に取り組む、意欲のある人を中心とした協同労働団体の立ち上げと立ち上げ後の運営をサポート

伴走型支援

協同労働 支援センター事業

- ・ 広島市シルバー・協同労働センターから、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団へ委託
- ・ 経験豊富なコーディネーターが事業の立ち上げから、その後の運営までの伴走型支援を実施

補助金交付

「協同労働」 個別プロジェクト 立ち上げ支援事業

- ・ 協同労働支援センターの支援を受け、具体的な事業化の目途が立った団体を対象に、外部有識者による評価(事業可能性検討会議〈年2回開催〉)等を行った後、認定された団体に補助金を交付
- ・ 立ち上げに要する経費に補助金「補助率1/2(上限100万円)」を交付
- ・ 概算払いで支給し、翌年度の5月までに精算処理

02 協同労働団体の設立支援(設立までの支援内容、支援の流れ)

●設立までの支援内容

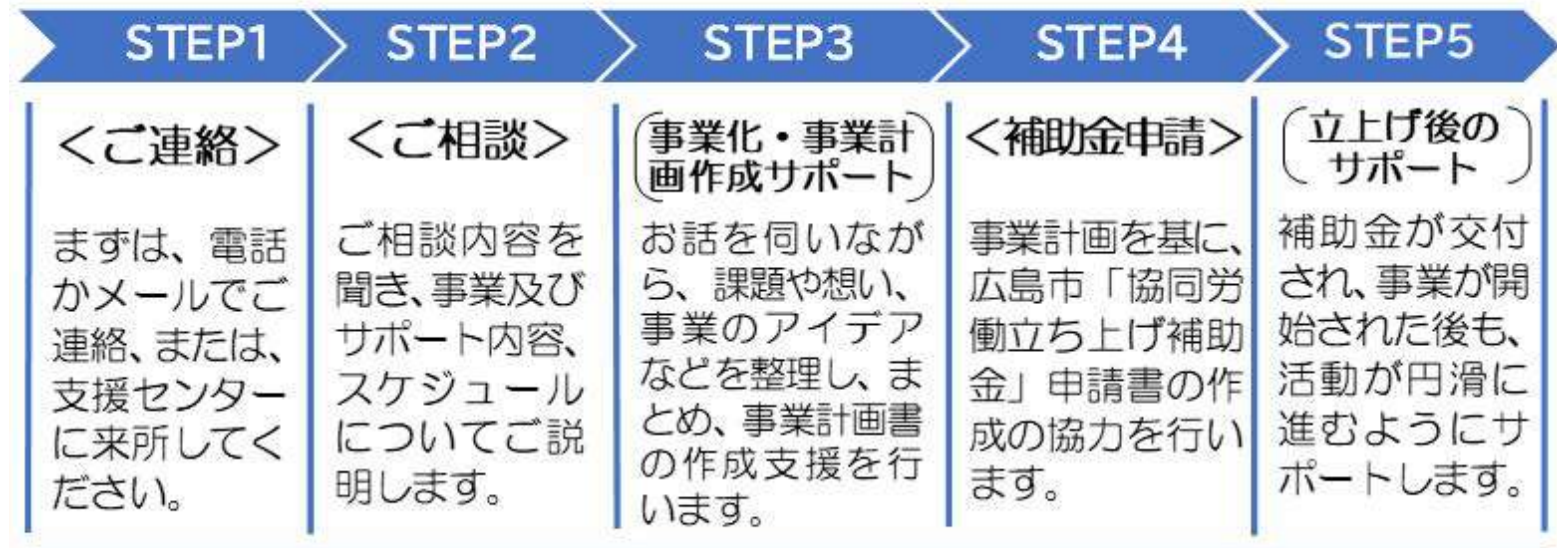
◎全8区で、協同労働の学習会を開催し、協同労働の説明及び各事例を紹介し、質疑応答で深める。

◎学習会の中から、主体的に設立検討したい人（中核人材）を見出し、直接連絡や懇談など伴走を開始。

◎中核人材を中心に、一緒に設立する仲間を探し、仲間とともに協同労働の理解促し、計画作りを支援。

●支援の流れ

伴走型支援を行います！！



03 協同労働団体の取組み（びしゃもん台・絆くらぶ）

◎構成員：41人（2018年設立）

◎地域：安佐南区毘沙門台

◎事業内容・生活困りごと支援事業

- ・生きがい就労支援事業

- ・住民主体の移動サービス

◎学区社協、町内会を母体として設立。

「福祉のまちづくりプラン」に位置づけ。

ボランティアバンクの10数件の実績から、昨年度は896件の依頼を受けている。

◎陸運局と確認し、広島市の住民主体型サービス（介護予防・日常生活支援総合事業）として付添サービスを実施。



◎LMO毘沙門台の構成団体として、まちづくりに貢献している。（夏祭り、とんど祭り、高齢者支援等）※LMO＝広島型地域運営組織

◎無償のボランティアバンクから有償の仕事に。

◎新たな担い手確保や、新たな地域課題に対応。

◎高齢者が増える中で、地域包括支援センター、区社会福祉協議会と連携して、支え合い活動を行っている。

03 協同労働団体の取組み（アグリ アシストとも）

◎構成員：17人（2018年設立）

◎地域：安佐南区伴

◎事業内容・農業を取り巻く困りごとと支援
・農業を持続させる事業
・地域の環境保全に関する事業

◎JA広島市（JA伴支店）と連携し、伴地域の持続可能な農業とまちづくりを目指して設立。農業従事者の困りごとと支援や、農に関心ある地域住民と農業をつなぐ活動をしている。

◎伴学区LMOの構成団体となり、LMOの補助をもらい野菜づくりカフェを開催。JA伴支店のサポートを受けながら、学習、栽培、収穫。



03 協同労働団体の取組み（おひさまSUN）

◎構成員：8人（2022年設立）

◎地域：安芸区上瀬野

◎事業内容・地域コミュニティ食堂
（第1金・土曜、第3金・土曜）
・地域みんなで季節行事

◎岡山から移住した夫婦を中心に設立。

設立時にチラシを配布し、地域説明会開催。
地域から出資して働く仲間も参加。最近では
利用する若い人たちが共感し、構成員となる。

◎空家となった古民家を活用して、地域住民が
気軽に食事をしたり、お茶を飲みながら交流
できる場づくり。

◎米や野菜を栽培し、食材に活用。味噌教室等。



03 協同労働団体の取組み（現役世代が中心）

（暮らしの保健室亀山）

構成員8名（2022年設立）（安佐北区亀山南）

ケアマネや理学療法士が中心となり、地域の高齢者が気軽に
参加し、相談できる居場所づくり（月1回実施）



（キッズレクリエーションクラブ）

構成員9名（2023年設立）（南区楠那）

PTA保護者が、放課後の子どもの居場所づくりを、スポーツや
クッキングや音楽を通じておこなう（3つの小学校で週1回実施）



（ひろしま・うじなみなとフリマプロジェクト）

構成員6名（2020年設立）（南区宇品）

宇品港の駐車場を活用し100店舗近くが集まる、県内最大
規模のフリーマーケットを運営（月2回）



03 協同労働団体の取組み（GO郷・まつむね）

◎出資者：14人（2015年設立）

◎地域：安佐南区伴東

◎事業内容

井戸端サロン（週1回）、パソコン教室（月2回）、
困りごと支援（週1回）、健康マージャン（週1回）、
小学校の宿題（月2回）、GO郷市場（週1回）

◎各活動を担当者がそれぞれの得意技などを
活かして主体的に運営。相互に活動を支援。

◎毎月1回定例会議を開催。各部門担当からの
報告をもとに、全体で検討して運営。

◎意見の違いも起きるが、みんなで折り合いを、
話し合いで探りながら、お互いを尊重し、運営。



協同労働団体の取組み（こども子育て応援ひろしま労働者協同組合）

◎出資者：13人（2024年設立）

◎地域：南区宇品東

◎事業内容

地域子育て支援拠点（広島市補助）

- ・子育て応援スペース「いいね」運営
- ・訪問型子育て支援事業「ホームサポート」運営

◎NPO法人で運営していたが、自主自立した運営に向けて話し合いを続けるなかで、自分たちの働き方にあった協同労働を選択。

◎今年から労働者協同組合としての運営を始めて
日が浅いが、一人一係など役割分担をし、また
事業や経営についても主体的に考え始める。



はなまる園で楽しくて、おいしい

いいね

2025年 7月

TEL: 03-52-2545-9707
 URL: <http://www.hanamaru-garden.jp/>
 E: info@hanamaru-garden.jp
 住所: 東京都中央区新富町1-17-1、イオンビル2階
 営業: 10:00~18:00 (祝日も営業) 17:00~18:00 (土曜・日曜・祝日も営業)

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
	スタッフ ミーティング 13:30から 通常オープン	7月16日の 夏祭り 予約開始		※14:30から ちょこっと ふれあい遊び	休	
7	8	9	10	11	12	
親子で リトミック 予約開始	スタッフ ミーティング 13:30から 通常オープン		※11:00から ちょこっと ふれあい遊び		休	
14	15	16	17	18	19	
		いいねの 夏祭り			休	
21	22	23	24	25	26	
休	夏月分 一時保育の 予約開始	親子で リトミック 15:45から 通常オープン			休	
28	29	30	31			
※14:30から ちょこっと ふれあい遊び				月曜日より なるこ おしゃくし ご機嫌く		

●7/1(火)、8(火)はスタッフミーティングのため13:30からオープンとなります

●一時間から好評受付中♪

毎月20日(休)の場合は夏祭当日の10:00から夏月分の一時間からの予約の予約をお待ちしております♪

当日お受けできる場合もありますので、お電話にお問い合わせください。






04 協同労働で働く魅力とは - 実践者の声 -

●メリット、魅力

- 一人ひとりが主体的に運営に参画できてトップダウンにならない。
- みんなで責任を分かち合うから事業活動を自分事にできる。
- 事業体として、持続可能な活動ができる。
- 対価（報酬）を得られて、やりがい、生きがいにつながる。
- 地域の困りごとにダイレクトに自分たちで考えて対応できる。
- 地域住民との新たな絆が作れた。利用者が旅行に行きたいと言われ、皆で旅行に。
- 利用者の特技を生かした活動が生まれる。利用者、提供者の区別がない。

- 地域で働く場ができた。年を重ねても、障がいを負っても、話し合い、一緒に働ける。
- 会社勤めをしながら、協同労働団体にも所属し、退職後の地域での活動に備えている。
- 協同労働で毎月話し合うなかで、町内会や老人会の役員を担うようになった。

●デメリット、苦勞したエピソード

- みんなの話し合いで進めなくてはならず、意思決定に時間が掛かる。
- 経営や運営についてはお任せしたいという意識が変わらない。

04 協同労働で働く魅力とは - 任意団体と労働者協同組合-

●「協同労働」＝「よい仕事」

◎働くこと（稼ぎ）と地域をつくる（仕事）が、一体的な働き方。

◎営利でもボランティアでもない、非営利で持続可能な事業体。

◎みんな違うを前提に、話し合い、折り合い、合意形成。
自分らしく、仲間と共に、やりがいある主体的な労働。
仲間づくり・仕事づくり・まちづくりの協同組合。

●任意団体×労働者協同組合

広島市
協同労働団体
任意団体
出資・経営・労働
労働契約は**任意**

厚労省
労働者協同組合
法人団体
出資・経営・労働
労働契約は**必須**

協同労働の拡がり

仲間との協同

組合員が話し合い、地域課題の解決

利用者との協同

利用者が主体者となり新たな活動へ

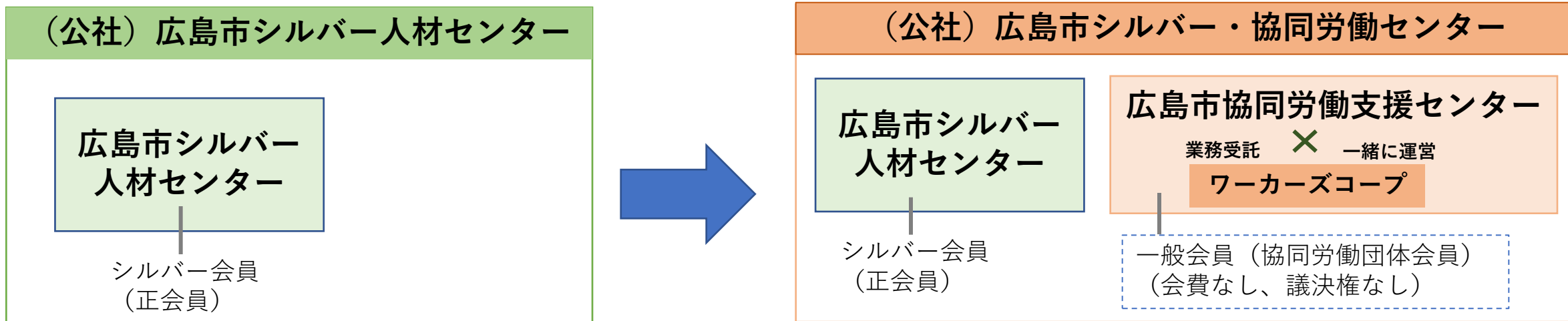
地域との協同

住民主体の活動が地域で拡がる拠点



05 広島市協同労働支援センターの紹介

●全国初「シルバー人材センター」が「シルバー・協同労働センター」に改組



●シルバー人材センターとの統合効果

- ①両センター相互の会員数、団体数の増加
- ②シルバー人材センター、協同労働団体の就業機会拡大
- ③団体の人材育成、業務拡大、リスク低減、安定性・信頼性向上
(シルバー人材センターが開催する研修・講習会の活用)
- ④両センターそれぞれが持つ利用者からの声・ニーズ、地域課題を共有

今後の目標

幅広い世代に多様な働き方を実現していただきつつ、地域課題の解決に資する機会を創出する。

06 新たな立ち上げ人材発掘・獲得に向けて

①協同労働インターンシッププログラム

- ・ 目的：協同労働の普及・促進、多様な働き方(複業・起業・セカンドキャリア)の実現、キャリア自律
- ・ 対象：広島県内の市町の民間企業で働く従業員
- ・ 内容：キャリア研修※と既存の協同労働団体の視察・見学

※自己のスキルや経験の棚卸しを行い、協同労働に活用できるスキルを見出す研修。(株)日本総合研究所、(株)社会人材コミュニケーションズとともに研修を企画・運営。



キャリア研修



団体の視察・見学

②協同労働体験プログラム

- ・ 目的：協同労働の具体的な活動内容や運営の仕組みの理解を深める
- ・ 対象：大学生や協同労働インターンシッププログラム参加者
- ・ 内容：お試し構成員として、農業、カフェ、子ども支援、困りごと支援等の団体に参加



体験イメージ

③学生起業支援

- ・ 目的：学生による協同労働団体の立ち上げを促進
- ・ 対象：地域活動や起業に興味のある広島市立大学の学生
- ・ 内容：起業の一つの形として協同労働の紹介や協同労働を使った起業体験
学生向けの補助金制度の整備(現行の補助金制度を一部改正を検討)

新たに地域課題を解決するために
活動する人材の発掘・獲得を強化

※①～③の事業は、いずれも検討中・調整中のもの